

令和2年10月29日

まちづくり委員会資料

保全緑地における利活用と保全の
好循環の創出に向けた取組について

建設緑政局

保全緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組について

1 緑地保全施策について

本市では、様々な緑地保全施策を活用しながら、多摩丘陵と多摩川崖線の緑を守り育て、次の世代へ継承していくために、残された貴重な樹林地等の保全を進めている。

【主な緑地保全施策及び保全実績】（R2年3月現在）

特別緑地保全地区（都市緑地法）…… 78箇所、約134.0ha
（うち市取得 59箇所、約 94.2ha）
緑の保全地域（川崎市緑の条例）…… 34箇所、約 31.5ha
緑地保全協定（緑地保全事業要綱）…… 約 70.6ha

一部の樹林地については、地域住民や企業、教育機関との協働により、樹林地の保全管理活動を進めている。



2 保全緑地における利活用の取組の方向性

（1）緑の基本計画における利活用の取組の位置づけ

【広域的な緑の魅力向上プロジェクト】

- 首都圏における貴重な自然環境である多摩丘陵は、地域や都市の魅力を高めることのできる大きなポテンシャルを秘めており、広域的な視点を持ちながらその重要性を多様な主体と共有していくとともに、**保全に配慮しながら資源の活用を進めていく**ことにより、**地域や都市の魅力を高め、さらに市民の地域愛の醸成を目指す。**
- 樹林地の残る地域においては、その保全活動をはじめ、民間活力の導入を検討しながら**保全された樹林地を活用し、子どもがのびのびと自然にふれあい、成長できる空間づくりを推進**する。

（2）利活用の取組の考え方

緑の基本計画を踏まえ、次世代を担う子ども達が自然にふれあい、体験することを通して、緑への愛着を醸成するとともに、利用者自らが、必要な樹林地管理を主体的に行うことにより、持続可能な協働の担い手の確保につなげ、**保全緑地の利活用と健全な樹林地環境の保全の好循環を創出する**取組を推進する。

（3）利活用の取組の進め方

これまで、保全管理活動の一環として、市民ボランティアによる緑地の利活用は行われてきたが、さらなる利活用の推進に向けた検討を行うにあたり、**子どもを含め、より多くの人に緑地にふれあう機会をつくるため、モデル地区を選定**して取組を進めていく。

【モデル地区の選定の考え方】

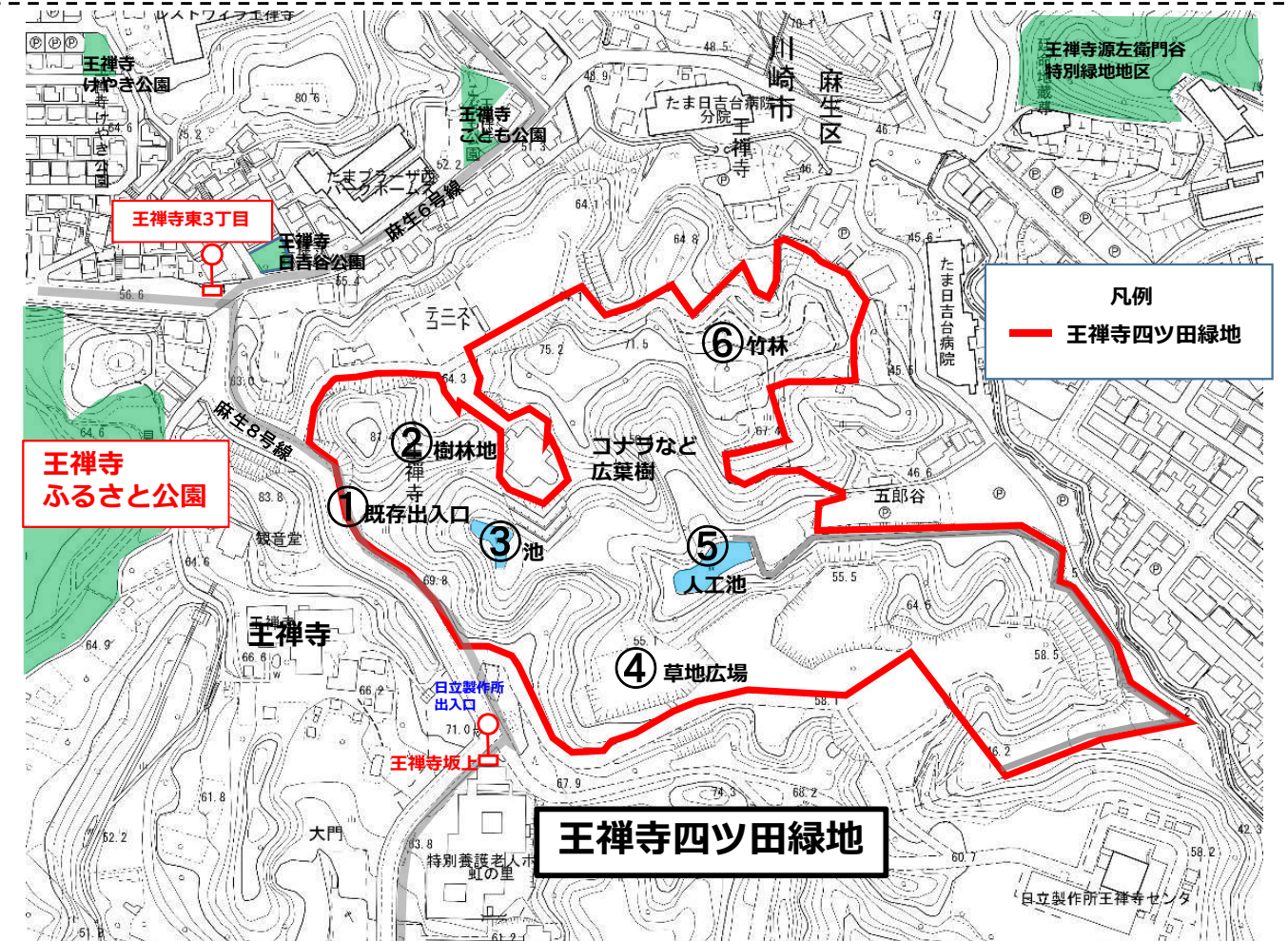
- i) 子どもを含め多くの人が活動しやすい ⇒ **一定規模の平坦地を有するなど、活動しやすい環境である**
- ii) 利活用の主体がアクセスしやすい ⇒ **車やバスなど、アクセス性がある**

以上の考え方を踏まえ、**王禅寺四ツ田緑地をモデル地区**として選定し、取組を推進する。

3 王禅寺四ツ田緑地の概要

【概要】

- 面積：約7.1ha
- 事業者所有地の一部であった樹林地を特別緑地保全地区（都市緑地法）に指定し、事業者の撤退に伴い市が取得
- 敷地内は起伏に富み、コナラや竹などの多様な植生が生育すると共に、**平坦な草地広場が存在**
- 自然的な環境だけでなく**保養施設として整備された散策路や人工池などの施設が残存**
- 近接する王禅寺ふさと公園に駐車場があり、バス停〔王禅寺東3丁目〕も近くに設置**



保全緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組について

4 利活用アイデアの募集

王禅寺四ツ田緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組を進めるにあたっては、日常的に野外活動等を行っている方々が持つアイデアやノウハウを幅広くお聞きすることで効果的な取組の検討を行うことが可能となることから、**樹林地等に残る豊かな自然環境のポテンシャルを活かした利活用のアイデア**について、広く募集した。

【アイデアイメージ】

- ・自然を保全しつつ活用する、自然共生型の取組
- ・多くの人（特に子ども）が自然にふれあえる取組

（１）募集期間

令和２年９月７日～令和２年１０月１２日

（２）募集結果

【現地見学会参加状況】

３０団体５１名
（２日間実施合計）

【アイデア提案団体数】

１４団体
（野外活動団体、保全管理活動団体
子ども会、大学、NPO等）

（３）提案内容

＜工作体験＞

- ・木の枝や竹を使った工作体験
（木の枝使ったパチンコ、竹ぽっくり、竹とんぼ等）
- ・竹炭での七輪陶芸

＜野外活動体験＞

- ・たき火体験（火起こし方、炙り出し等）
- ・野外炊事（竹飯、茶碗蒸し、鳥の丸焼き、パン等）
- ・野草観察・虫の鳴き声鑑賞（昼・夜間）
- ・自然物ビンゴ（雑木林内で自然物を採取してビンゴ）
- ・ロープを活用した遊び（ターザンロープ、ツリークライミング等）

＜教育・研究・その他＞

- ・木の枝を使ったSDGsバッジ作りを通して、SDGsを知るきっかけづくり
- ・良好な自然環境を次世代へつなぐ願いを込めて、葉っぱや木の実を集めたボードを作成
- ・緑地内にカメラを設置し、緑地内生物の定点観察の内容を地域の寺子屋事業に活用
- ・犬と子ども（親子）の散歩会（子供向けの犬のふれあい体験）
- ・イベント参加者へのアンケートとインタビューによる自然体験の効果研究



5 利活用イベントの実施

アイデア提案を頂いた団体と共に、王禅寺四ツ田緑地の自然環境を活かした野外活動体験のできる市民参加イベントの実施。

【イベント概要】

開催日：１１月２８日（土）※雨天時は翌日に順延

会場：王禅寺四ツ田緑地
（麻生区王禅寺字四ツ田１０２８－８）

時間：①午前９時３０分～正午
②午後１時３０分～午後４時
※午前と午後で参加者入れ替え

対象者：小学生以上（小学１～３年生は保護者同伴）

定員：各回ともに２００名 合計４００名
※事前申込制とし、申込多数の場合は抽選
※当選者の発表は、当選者宛てメール

参加費：無料

申込方法：市ホームページの参加申込フォームもしくはFAX

申込締切：１１月１５日（日）まで

【イベント内容】

９団体の協力による野遊び体験

☆探検しよう☆

- 森の中からビンゴ！
（野山を巡り自然物を探しビンゴを完成）
- みんなで作る豊かな森への願いボード
どんぐり回してジュズダマ作り
- たき火体験
（メタルマッチで火起こし体験）

☆作ってみよう☆

- 竹リンピック（竹ぽっくり作成・競争）
- やってみよう！（竹とんぼ作り等）
- アイデア竹細工
（竹花瓶、竹けん玉等アイデア竹工作）
- 木の枝パチンコで的を狙え！
- 森に眠る宝物でSDGsバッジを作ろう！
- 粘土を使って竹炭での『七輪陶芸』

参加者及び今回のイベントの協力団体にアンケートを実施するとともに、後日、**今回のイベントに関わった方や地域の方々と意見交換を行い**、王禅寺四ツ田緑地の**利活用等に関する課題やニーズを把握し、今後の取組の方向性を整理**する。

（※アンケート実施にあたり、大学研究室と連携を図る。）

6 取組スケジュール

- | | |
|---------|---|
| 令和２年度 | ・利活用イベント実施、アンケート、意見交換により 今後の取組の方向性を整理 |
| 令和３年度以降 | ・さらなる検証を行いながら 王禅寺四ツ田緑地における利活用の取組を推進
・王禅寺四ツ田緑地の取組を参考に、 市内の他の緑地においても、それぞれの立地や地域特性に応じて、緑地の利活用が保全につながる、好循環を創出する取組を推進 |

